

令和5年4月27日 市民の声を聞く会 意見交換会 まとめ

凡例
 A 所管委員会で検討すべきもの
 B 意見として聞き置くもの（いただいたもの）
 C 回答済のもの
 ※ 直ちに執行機関において処理が必要と判断されるもの

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
1	A 経済	インターチェンジ名称変更について	6割が賛成だが、たった1,500人の意見である。これでいいのか。魚沼インターでいいのか。インターを降りても何もない。道の駅で農産物を売っているが、魚沼はどうか。	企画政策課	総務委員会	B	
2	D 地域づくり・まちづくり	雪の活用について	合併後、魚沼市は「人と四季がかがやく雪のくに」としているが、市民は雪の降らぬところがいいと思っている人が多い。しかし雪は、元は水であり、生きるために必要なものだ。雪へのイメージを変えて、良い魚沼に住んでいるとの思いが大事ではないか。冬に大雪警報が出ても、除雪体制は整備されている。雪を一つの資源としての捉え方、新しい生き方、新しい仕組みが必要だ。	企画政策課	総務委員会	B	
3	D 地域づくり・まちづくり	夏山冬里の考えについて	庁舎新築により、市役所周辺のにぎわいづくりもしたかったが、行政手続きのみとなっている。商店街や学生のにぎわいをつくるためには、夏山冬里の考えにより、冬場に市で無料の宿泊施設を提供し、中山間地の方に町場に移ってもらってはどうか。人口減対策にもなると考える。	地域創生課	総務委員会	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
4	D地域づくり・まちづくり	限界集落への対策について	限界集落が増えている。10年、20年、30年先を見通し、対策を立てることが必要だ。冬場に雪の少ない地域に越してくることはどうか。市内全て平等は難しい。	地域創生課	総務委員会	B	
5	D地域づくり・まちづくり	まちづくりについて	大学を卒業して魚沼に戻り、入る企業はあるのか。戻るところがないから市を離れていくことになり、この傾向にブレーキをかける手段がないのでは。まちづくりのため声を上げていかななくてはならない。	地域創生課	総務委員会	B	
6	D地域づくり・まちづくり	社会貢献について	魚沼市の人口の38%が65歳以上の高齢者になっている。年金高齢者で余裕のある人は、社会に対して貢献することを考えて欲しい。私は小出スキー場で一昨年から、1万粒のカタクリの種を植えてきた。花咲か爺さんにまず自分からなろうと思う。	地域創生課	総務委員会	B	
7	D地域づくり・まちづくり	人口減少対策について	雇用と子育てが大事であり、子育てがうまくいかねば人口減少につながる。移動販売車や冬の除雪支援など、1人1人の幸せにつながることが大事だ。	地域創生課	総務委員会	B	
8	C教育子育て	オーガニック給食の必要性について	学校給食の食材には農薬や多くの添加物が使用されている事を市民に知ってもらうセミナー等を実施し、オーガニック給食の必要性を検討してもらいたい。	学校教育課	福祉文教委員会	B	
9	C教育子育て	部活動の地域移行について	3年以内に休日の部活動が学校から地域に移行される動きがある中、魚沼市の動きが具体化されていないこと。近隣市においては部活動の指導員以外の部分でも補助金支援がされている。学校、地域の保護者指導員、スポーツ少年団等の部活動関係者が意見や問題点を検討する会を設けてほしい。	学校教育課	福祉文教委員会	A (継続)	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
10	C教育子育て	不登校、引きこもりについて	不登校、引きこもりについては、学校教育だけでは難しく、最悪の場合は尊い命が失われることを思うと、絶対に助けなければならない。学校・地域・行政が子供たちを見守りながらサポートできる体制づくりを構築していきたい。	学校教育課	福祉文教委員会	B	
11	C教育子育て	通学路について	歩道の整備等されていない通学路は危険がある。地域住民の交通安全に対するモラルやドライバーへのマナーや登校時の気配りの向上に向けた取り組みをお願いしたい。	学校教育課	福祉文教委員会	B	
12	A経済	少子高齢化について	子供が少なく止められない。魚沼市は高齢化が進んで労働力が不足してくる。高齢者を頼るしかない。行政に頼めばなんとかしてくれる時代は終わった。どうやったら働けるか。会計年度任用職員の賃金が安い。若い人が不満に思っていることを解決できない。高齢者にしかお金が回らない仕組みになっている。プールは健康増進に欠かせない。	企画政策課・生涯学習課	総務委員会・福祉文教委員会	B	
13	B医療福祉	プールについて	小出北部プールは1か月しか使えないプールで、あれが市のプールなのか。プールについては、皆で考えて欲しいと言っているが個人では難しい。市民も考えるが、議会が市民を先導することも重要である。子供がいて少子化対策にもつながる。800人の人達がどうしているのか。	生涯学習課	福祉文教委員会	B	
14	B医療福祉	プールについて	プールはなくなると大変で、プールがあることで、魚沼市の保険に関することに役立っている。趣味じゃない部分がある。いつまでも体が動けるようでありたい。動けなくなったら大変である。	生涯学習課	福祉文教委員会	B	
15	B医療福祉	プールに関する市長答弁について	議会だよりの市長の答弁で、プールの補助とはどのような補助か。	生涯学習課	福祉文教委員会	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
16	C教育子育て	温水プールの建設について	子ども達の教育や障害者スポーツそして、高齢者の健康維持等の観点から温水プールの建設に向け、委員会等に取り上げ調査してほしい。	生涯学習課	福祉文教委員会	B	
17	D地域づくり・まちづくり	温水プールについて	温水プールを造って欲しい。学校教育で水から命を守る泳ぎを教えるべきだ。温水プールがあれば、高校・中学・小学・幼児と時間を分けて共同使用ができる。年配者で杖つく人も水中では歩ける。プールはまちづくりになる。	生涯学習課	福祉文教委員会	B	
18	A経済	生涯学習センターについて	小出庁舎がなくなり、次に何ができるのかわからない。生涯学習センターができて何をするのか。生涯学習センターなのか、公民館か。	生涯学習課	福祉文教委員会	C	
19	D地域づくり・まちづくり	生涯学習センターについて	生涯学習センター内に図書館が設けられるとのことだが、広神や守門に図書館がある中で、それだけの図書館が必要か。	生涯学習課	福祉文教委員会	C	
20	D地域づくり・まちづくり	生涯学習センターについて	今の図書館は、にぎわい館にするとのことだが駐車場が狭い。生涯学習センターも十分な駐車スペースがあるとはいえないのでは。福祉センターの駐車場を活用するとの話を聞いたことがあるが遠すぎるのではないか。	生涯学習課	福祉文教委員会	C	
21	B医療福祉	路線バスの減便について	10月から休止の報道があり、現在は路線バスの利用者が少ないという理由でやめるといふ。バスをなくさないようにしてほしい。魚沼市独自の足の確保でもよい。魚沼の精神科（入院）は、基幹病院に集約したので、通うために交通は必要である。	生活環境課	福祉文教委員会	A	
22	B医療福祉	路線バスの減便について	家族の高齢化で車で送れない。国道252号に出るのも大変で、ここは不便なところである。利用する人が少ないからやめるのでなく、一人でも乗る人がいるということを忘れないでほしい。	生活環境課	福祉文教委員会	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
23	D地域づくり・まちづくり	路線バスについて	栃尾又線の廃止は、大湯温泉などの観光客の足に響く。	生活環境課	福祉文教委員会	B	
24	B医療福祉	公共交通（バス）の料金設定について	小出から浦佐まで250円、小出から基幹病院まで400円、小出から六日町まで550円（正確な端数の料金は分からない）であるが、その先の多間橋から浦佐駅西口まで250円となり奇妙な料金体系となっている。バス会社によると荒金線にあわせて400円としている。改善して欲しい。	生活環境課	福祉文教委員会	B	
25	B医療福祉	域外の乗合タクシーについて	乗合タクシーは、単一行政の範囲内で基幹病院の便があるとしても、基幹病院は南魚沼市で乗合タクシーの補助ができない。事情背景を考えると特例でできないのか。	生活環境課	福祉文教委員会	B	
26	B医療福祉	送迎制度について	老老介護で、介護者が透析の必要がある。しかし、免許返納で運転ができない。タクシー料金は片道5,000円で、送迎制度の利用もいっぱいである。バスがない。なんとか利用できないのか。	福祉支援課・介護福祉課	福祉文教委員会	執行機関に意見として報告	人工透析時の交通費は現在1/2助成しており、タクシー利用の場合は、バスを利用した場合の運賃に換算して、その1/2を助成していますが、公共交通機関が少ない中で、透析をはじめ、障害をお持ちの方、高齢の方の利便性に配慮した支援制度等について今後も検討してまいります。
27	B医療福祉	送迎制度について	家が高床で、階下に降りるのも大変である。相談すると、要支援1になる。しかし、利用の制度も仕方も分からない。分かりやすい送迎の仕組みはないだろうか。高額な保険料金を払っているのに・・・。	福祉支援課・介護福祉課	福祉文教委員会	執行機関に意見として報告	高齢者の皆さんへの福祉・生活支援サービスとして、タクシー券の交付を行う「外出支援サービス事業」や、バリアフリー化などの「住宅改修に係る費用助成」など、住み慣れた地域で、安全で安心して生活していただけるよう、様々な福祉サービスを実施しております。 また、高齢者の方の生活全般に関する様々な相談については、地域包括支援センターで対応していますが、気軽に相談やサービスを利用していただけよう、より様々な場面での周知を図っていくとともに、一層の支援・サービスの充実に向けて、取り組んでまいります。
28	A経済	若者の現状について	若い人はストレス溜まっている。無関心である。	健康増進課	福祉文教委員会	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
29	B医療福祉	保健師の体制について	魚沼市は、他の市町村に比べ相談体制が整っていると思う。基幹相談支援センターもできてありがたい。幼児や高齢者は、それぞれの部署で担当しているが、精神の場合は直接地区担当の保健師担当1名なり2名が業務にあたっている。ただし、地区担当は地区の話であって、多岐にわたるので手が回らないのではないか。精神分野の保健師の補充を希望する。人員を増やすのが適当ではないか。相対的な場面を受ける保健師が必要ではないか。	健康増進課	福祉文教委員会	執行機関に意見として報告	保健師は、市民の健康増進のため、各地域の中で様々な健康課題に日々対応しています。精神保健への対応も地域活動の中で対応していますが、保健師一人ですべて対応するというのではなく、基幹相談センターをはじめとする関係期間と連携して対応することとしています。 人員を増やすことではなく、連携の強化と役割を分担した上で、地域の資源を最大限に活用していきたいと考えています。
30	B医療福祉	コロナ感染について	母がコロナに感染し、症状悪化で入院した。どこにどうしたらいいかわからない。ケアマネさんが教えてくれた。優しく分かる制度が欲しい。	健康増進課	福祉文教委員会	B	
31	D地域づくり・まちづくり	市営住宅について	市営住宅に住んでいるが、バス路線廃止となれば小出の市営住宅に移りたいが、現状は、県営又は市営住宅が空いていても、一旦民営住宅を借りた後でないと市営に移れない条件になっている。	都市整備課	産業建設委員会	執行機関に意見として報告	現在、市営住宅に入居している方は住宅困窮者に当たらないため他の市営住宅に転居することは原則できません。 市営住宅から市営住宅の住替えについては、 ・住んでいる住宅が解体予定である場合 ・子どもが増えて手狭になるなど世帯人数に増減がある場合 ・入居者又は同居者が日常生活において身体の機能上の制限を受ける者となった場合 など条件が公営住宅法施行令に明記されていますが、具体的な判断は事業主体に委ねられています。 自家用車を持たない入居者の方はバス路線が廃止となる場合、生活が不安定になることが危惧されます。これまでバス路線廃止を理由とした住替え申込みはなかったことから、改めて入居対象となるか入居者選考委員会で議題とし検討してまいります。
32	A経済	只見線について	時刻表が良くない。周遊観光・飲食店のアピールが必要。	観光課	産業建設委員会	B	

番号	グループ	項目	詳細	担当課等	所管委員会	取扱い	執行部回答
33	A経済	観光資源について	神社、美術館、花（紅葉）、フラワーパークとか。「食」お土産は何か。向山のカタクリなど小出公園は素晴らしい。	観光課	産業建設委員会	B	
34	D地域づくり・まちづくり	まちづくり委員会について	まちづくりに関するところに所属している。今日の参加者も議員も、まちづくり委員会に出てきて意見を述べて欲しい。	-	-	-	